

ヴェリタス学習会通信 88

予定表カレンダー →



令和6年7月の予定

- ・月曜日 7月1・8・15・22・29日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
 - ・水曜日 7月3・10・17・24・31日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
 - ・木曜日 7月4・11・18・25日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
 - ・金曜日 7月5・12日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00
- 19・26日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00



藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

19・26(金)は、施設予約ができなかったため、**ヴェリタス事務局**で行います。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

15日(月)は「海の日」ですが、施設を予約しました。参加されない方も多いと思うので、濃い支援ができると思います。

大雨やその他の警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINEなどでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がるZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

英語のつづりと発音が異なる問題



英単語 **name** は、どうして「ナメ」ではなく「ネーム」と発音するのでしょうか。

日本語と同じように、英語もつづりと発音が時代によって変化してきたからです。特に15世紀から17世紀にかけて起こった大母音推移という現象の影響が大きいのです。7つの長い母音の発音がすべて変わってしまったのです。原因は1つには特定できず、いろいろな要因が相まって起こったと考えられています。

大母音推移

「イ」「エ」「ア」と順に発音してみてください。後ろにいくほど顎が下がっているのですが、分かりますか？ これは口の中の舌の位置を変えるためです。舌の位置により音が変わります。この舌の位置が一段ずつ上がる現象が上述の時期に起こりました。これを大母音推移といいます。強勢のある長母音だけ移動したので「アー」が「エー」に、「エー」が「イー」に変化しました。「イー」はこれ以上舌の位置を高くできないので「エイ」に変化しました。



舌が奥の方にある「オー」は「ウー」に、「ウー」の舌は高くできないので「アウ」に変化します。この変化が大母音推移の基本です。(分かりにくいと思うので、聞いてくれれば説明します)

「名前」の name の変遷



時代： 古英語 → 中英語 → 大母音推移 → 近代英語

つづり： ^ナ ^マ ^ナ ^メ ^ネ ^メ ^ネ ^イ ^ム
nama name name name

発音記号： [náma] [ná:mə] [né:mə] [néim]

古英語はローマ字読み通りですね。昔は、他の単語も、ほぼローマ字読みでいけたのです。

中英語期につづりの変化が見えていますね。語末の **a** が **e** に替わっていますね。強勢のある2文字目の **a** が長音になり、4文字目の **a** が弱音化したためです。中英語の発音を「ナーメ」としましたが、「ナーマ」に近い発音です。大母音推移後の「ネーメ」も「ネーマ」と発音しても構いません。強勢のない母音はつづり字に近い音とも「ア」とも聞こえる発音になります。

近代英語では語末の **e** の音は消えています（文字はそのまま残りました）。

他のヨーロッパ言語で **a** のアルファベット名は、おおむね「ア」に近い音になります。ところが英語は「エイ」です。これには上のような変遷があったからです。

アルファベットの **i** も「イ」ではなく「アイ」と呼びますね。これも同様の変遷があったからです。

(例) 「時間」 **tima**[tí:ma ティーマ] → **time**[tí:mə ティーム] → **time**[táimə タイメ] → **time**[táim タイム]

“子音字＋母音字＋子音字＋e” の母音字はアルファベット読み

「時間」 **time** の **i** の部分は「アイ」の発音になります。アルファベット読みです。「ティム」という人名の **Tim** の **i** は「イ」とローマ字読みで発音します。近代英語で発音しなくなった語末の **e** が消えない理由がここにあります。語末に **e** があつたら2つ前の母音はアルファベット読みになるのです。

(例) **win** 「勝つ」と **wine** 「ワイン」、**hop** 「ホップ」と **hope** 「希望 (する)」、**pet** 「ペット」と **Pete** 「ピート」、**cut** 「切る」(ローマ字読みではありませんが短母音) と **cute** 「かわいい」、**cap** 「野球帽」と **cape** 「ケープ」など。

それぞれ **e** で終わっている方は、2つ前の母音が「アイ」「オウ」「イー」「ユー」「エイ」と発音していることを確認してください。**came** が「カメ」じゃなく「ケイム」、**make** が「マケ」じゃなく「メイク」、**five** が「フィヴェ」ではなく「ファイヴ」、**home** が「ホメ」ではなく「ハウム」なのも納得できますね。